

科目名	国際経済政策論特講	担当者	リク 陸	ユウゲン 亦群	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	---------	------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>経済のグローバル化が進むなか、一国の経済発展は国際経済環境と切り離して議論することができなくなり、世界成長市場のダイナミズムを自国経済に取り込むための対外経済政策は一段とその重要性を増している。そこで、本講座では、主に国際貿易・国際分業と経済開発の基礎理論を土台にして、生産活動のグローバル化と国際分業構造の変化、通商政策、地域経済発展および地域統合の問題に焦点をあて、経済のグローバル化の要因とその経済効果を理論的に理解したうえで、望ましい国際経済政策のあり方を考えていくことを目的とする。</p>		
到達目標	<p>本講義は、国際経済を理解するために必要とするミクロ経済の基礎理論と中級的な国際貿易の基本理論を学び、国際経済政策問題を正しく把握することを到達目標とする。そして歴史・理論・実際の融合的視点から通商政策、地域経済発展および地域統合の問題をアプローチし理解することを目指す。</p>		
学修方法	<p>基本教材リーディング、研究文献サーベイとレポート作成を基本的な学習方法とするが、本講座の履修生のサイバーゼミへの参加を歓迎し、オンラインで基礎理論の指導や質疑応答を行なう。対面指導も積極的に取り組んで履修生の学修を補完する。</p>		
スケジュール	<p>レポート提出には前期・後期ごとに期限が設けられており、詳細スケジュールについては大学院HPを参照すること。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	課題レポートの内容を正しく理解しているかどうか、参考図書を理解し、自分の意見でまとめられたかどうかを重視する。
	平常評価	20%	レポートに事前準備や質疑応答の内容などを勘案する。
履修者への要望	<p>基本教材を熟読し理解したうえで、上記列挙の文献に限定せず、本屋や図書館で関連文献を入手し、インターネットなどでも検索し、積極的な知識欲を持ってほしい。</p> <p>レポート執筆にあたっては、自説と他説をはっきり区別し、レポート形式を守って客観的に論述し、文末に参考文献リストを付けるようにして下さい。参考文献についても、推薦参考図書に限定せず、本屋や図書館での関連文献の入手、インターネットでの検索も活用してほしい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 若杉隆平 教材名： 『国際経済学(第3版)』(岩波書店, 2009年) ISBN:978-4-00-026699-4 2,800円+税
	本書は、まず国際経済に関するデータの把握から入り、国際経済学の基礎理論を概説し、そのうえで不完全競争下での新貿易理論を網羅して、完全競争下の貿易政策や不完全競争下の戦略的貿易政策を解説した。さらに企業生産性の差異を国際貿易に取り込んだ「新々貿易理論」を紹介し、それをベースに直接投資、アウトソーシングや技術移転などの国際貿易の新たな側面を取り上げている。本書は、理論的アプローチを踏まえて望ましい国際経済政策の在り方を考察するための基本教材として位置づけられる。
参考図書	木村福成『国際経済学入門』(日本評論社, 2000年) ISBN:978-4-53-555128-2 3,200円+税 ヘルプマン『グローバル貿易の針路をよむ』(文真堂, 2012年) ISBN:978-4-83-094765-0 2,600円+税 大矢野栄次『国際貿易の理論(新訂版)』(同文館出版, 2011年) ISBN:978-4-49-567583-7 3,500円+税
履修上のポイント	教材および参考書を熟読して、国際貿易の基本モデルである伝統理論のリカードモデル、新古典派のヘクシャー＝オリーン・モデル、製品多様性、産業内貿易や規模の経済といった新国際貿易理論をマスターし、企業の異質性を踏まえて、基礎理論をしっかりと把握してください。
レポート課題 1	現在の国際貿易はどのようなパターンで行われているのか、それぞれの国が国際分業を通じてどのようなメリットを得たのかについて論じなさい。 留意点： 上記の履修ポイントを押さえて、国際経済学の基礎的な理論ベースを踏まえて論理的に考察して客観的に結果をまとめるようにしてください。
レポート課題 2	自由貿易の推進は一国の経済成長にどのようなインパクトを与えるかを肯定的に論じなさい。 留意点： 通商政策の理論、保護貿易の論拠を踏まえて、主観的な意見ではなく、具体例を挙げながら論理的に結果を導くようにまとめてください。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 西口清勝 教材名： 『現代東アジア経済の展開』(青木書店, 2004年) ISBN:978-4-25-020431-9 3,200円+税
	本書は、開発経済の分析視点から、東アジア経済の「激動の10年」を「奇跡」の経済発展から危機への転落として捉え、実証と理論の両面から検討し、地域協力という最新の動向を踏まえ東アジア共同体の可能性を考察したものである。本書全体は8章から構成されている。第1章では、90年代以降の開発経済学におけるパラダイム転換に触れ、世界銀行が提起した新たなアプローチである「市場補完アプローチ」に着目している。第2章から第5章においては、「奇跡」から危機への展開とアジア通貨危機を歴史の連続性から、すなわち危機を奇跡からの連続性で要因を究明し分析が行なわれている。第6章から第8章では、東アジアにおける地域協力の問題を取り扱い、最後に東アジア共同体の可能性を展望し、日本が果たすべき役割についての著者の見解が示されている。
参考図書	馬田啓一 木村福成『検証・東アジアの地域主義と日本』(文真堂, 2008年) ISBN:978-4-83-094614-1 2,800円+税 世界銀行『東アジアの奇跡—経済成長と政府の役割』(東洋経済新報社, 1993年) ISBN:978-4-49-244166-4 3,495円+税 トラン・ヴァン・トゥ 松本邦愛編『中国—ASEANのFTAと東アジア経済』(文真堂, 2007年) ISBN:978-4-83-094606-6 2,600円+税
履修上のポイント	本書は「奇跡」、「危機」および「地域協力」のキーワードに沿って、三つの部分から構成されている。初心者には多少難解かと思われるところがあるが、各章において東アジア経済および地域経済協力関連の先行研究の理論的考察とリファレンスを豊富に取り上げているので、必要に応じて参照し、参考図書と合わせて読まれることが望ましい。
レポート課題 1	東アジアの経験を踏まえて開発戦略の展開における市場と政府について論じなさい。 留意点： 開発戦略の展開は、経済開発の歴史的推移および開発理論の形成との関連性が重要である。マーケットフレンドリーの考え方および基本教材2の論点をきちんと整理し、それを吟味したうえで、自分の意見をまとめるようにしてください。
レポート課題 2	地域経済統合に向けた流れと東アジア新興国の国際経済政策選択について論じなさい。 留意点： 東アジアにおける地域経済協力の歴史的推移をまとめることに止まらず、近年のFTA/EPA交渉、ASEAN+3、ASEAN+6、TPP交渉ならびにFTAAPなどの動向を踏まえて、基本教材の論点・見解に拘らず、国際経済政策のあり方について議論してほしい。